

# 2023 年度 地黄湿地 保全活動報告

当初計画からの進捗・活動報告を末尾の枠内に記載

## 計画の概要

湿地の再生・保全は3カ年計画を基本に調査計画や施工を進める。

調査・モニタリングは継続的に実施する。

普及啓発などについては、勉強会などを開催して、地元及び一般参加者の拡充に努めるとともに、北摂地域の各湿地における保全活動が活発化しており、それらの保全活動団体と交流を図り、連携の可能性を検討する。

## I 再生保全検討会議

5月に加えて、中間報告など必要に応じて随時会議を開催する。

5/16 開催

主な議題：2022 年度活動報告

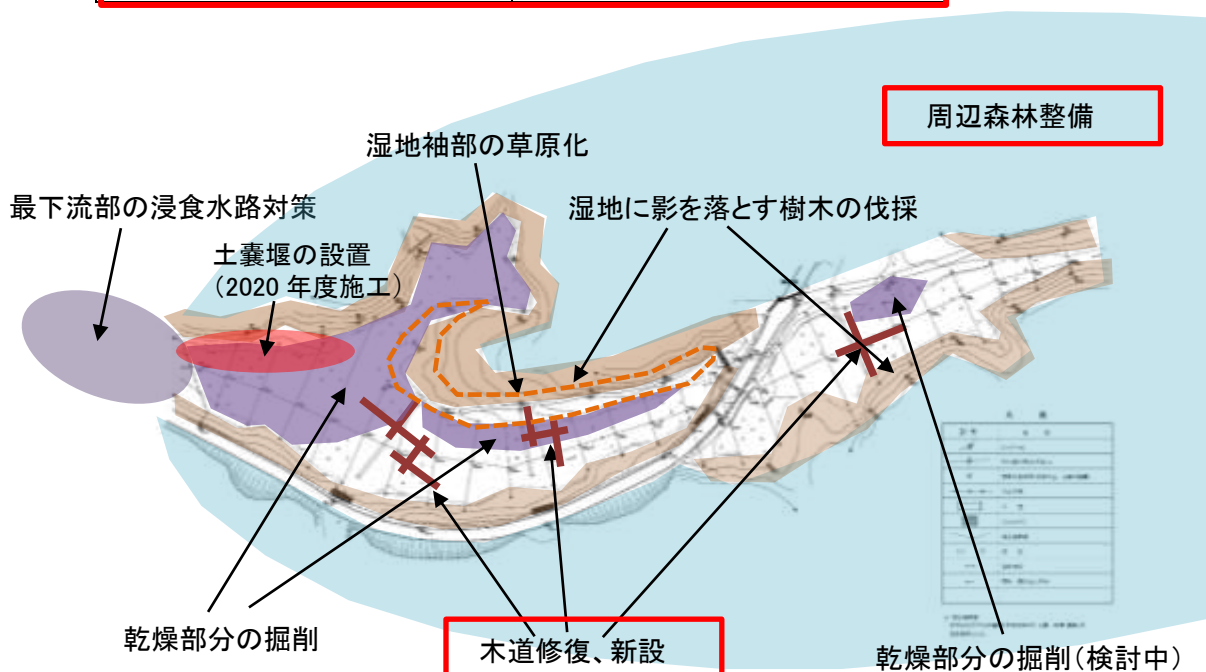
2023 年度活動計画（案）について

## II 保全作業

2021 年度第 2 回検討会議（12 月開催）において承認された、2022 年度から 2024 年度の 3 カ年計画を進める。

2022 年度までの実施内容と、2023 年度以降の予定は下表の通り。

2021 年度に実施済み	湿地周りの高木伐採 乾燥部分の掘削
2021 年度から継続実施	湿地袖部の草原化
2022 年度に実施済み	最下流部の浸食水路対策
2022 年度以降に実施予定	周辺森林整備
2023 年度以降に実施予定	木道修復、新設



## 1 周辺森林整備

森林タイプ別の施業方針及びスケジュールを関係者と協議のうえ作成し、その計画に基づいて森林整備を進める。

専門家の指導を受けて上池湿地集水域に植生調査区を新たに 1 ヶ所設け、区画の周囲に防鹿柵を設置する。

人工林については草原地化を目指し、皆伐をすすめる。

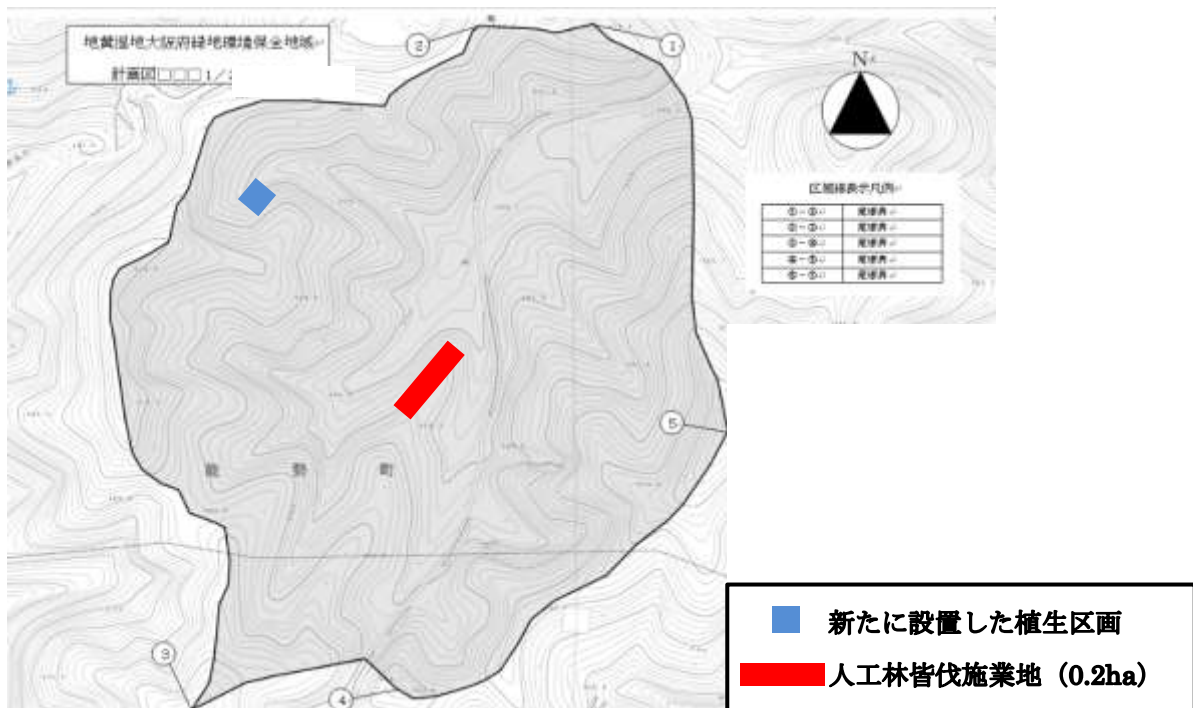
- ・関係者と相談をし、森林のタイプは落葉広葉樹と人工林の 2 つのパターンに分け、針葉樹部分を伐採して草原地化を図ることとした。
- ・専門家の指導を受けて、湿地上池左岸にシカの食害による裸地化をモニタリングするために植生調査区を新たに 1 か所設け、常緑広葉樹を伐採したのち、区画の周囲に防鹿柵を設置した。
- ・上池右岸の人工林部分の 0.2ha を皆伐し、草原地化を図った。
- ・伐った人工林の一部は、能勢町が実施した木の駅プロジェクトと近隣のキャンプ場へ出材した。 出材量：約 1 トン、4,870 円



新たに設置した植生調査区



人工林皆伐地



## 2 木道修復、新設

木道の老朽化が進んでいるため、既存の木道を修復する。その際には観察者の行き違いを可能にする場所を新設する。(別紙添付)

3ヶ所ある木道のうち、下池下流部の一部を修復した。修復に使用した天板・梁・杭などの材は、ボランティア活動で焼き付けを行ったものを使用した。(参考資料1)



木杭焼き入れ



天板焼き入れ



木道修復後

## 3 ボランティア定例保全活動

4月～10月は月1回とし、湿地内の動植物観察や希少種確認及び記録と、湿地外の林床整備等の作業を行う。11月～3月は月2回とし、湿地内の整備を行う。

年間計画(案)を巻末に添付。

4月～10月は月1回。11月～3月は月2回、地黄の森FANクラブが定例活動を実施した。ボランティア活動実績表を巻末に添付。



11/25 湿地内草刈



3/9 土嚢による水路埋め戻し

### (1) 湿地内の動植物観察や希少種確認及び記録

サギソウ等の希少種の分布状況、生育状況を記録する。

5/27の活動で、トキソウ開花数調査を実施し、215個体を確認した。(参考資料2)

サギソウは7/23の観察会実施時に上池で1個体、下池で15個体以上を確認した。



5/27 トキソウ開花調査

## (2) 草原地化部の保全・草刈等

湿地袖部で防鹿柵を設置し草原地化を目指している部分は、引き続き植生管理のための草刈などを実施する。

防鹿柵内では、ニホンジカによる食害を受けないため、植生が回復しつつある。残したいササユリなどの植物に印をしたのち、それ以外の植物については2/10の活動で植生管理のための草刈を実施した。



2/10 湿地袖部防鹿柵内草刈

## (3) 湿地内の水環境の保全・草刈等

植物の活動が少なくなる11月以降、湿地内で水の偏りがないか確認し、湿地全体に水が行き渡るように土嚢などを設置する。

貧栄養の水質と光環境を保つため、湿地全域について枯れた植物体の刈り払い、撤去を行う。

11月～3月の活動で、湿地内の枯れた植物体を刈り払い、撤去を行った。撤去についてはこれまでは湿地周囲の林内等に積んでいたが、今年度は畑に蒔く肥料などとして有効に活用した。能勢町内の農家の方に引き取っていただいた。



2/24 刈った草の活用

## (4) 周辺森林の植生調査地の保全・草刈等

2022年度に設置した周辺森林の植生調査地は防鹿柵内の遷移を確認し、必要に応じて順応的管理を行う。

2022年度に設置した植生調査地内は大きな変化がなかった。

## (5) 外来種対応

確認された外来種については駆除などの対応を行う。

- ・ウシガエル：捕獲用のカニ籠を引き続き設置し、夏季に卵塊がないか目視で確認する。
- ・メダカ：引き続き状況を確認し、ボランティア定例活動時に駆除を行う。駆除は観察会・保全活動体験会及び、大阪府立豊中高等学校能勢分校の現地授業の機会も利用し、外来種問題の啓発を兼ねて、参加者の協力を得て実施する。



観察会参加者と外来種駆除作業を行うとともに、外来種問題の啓発を実施した。

- ・ウシガエルを2匹捕獲した。
- ・持ち込まれたメダカは、ボランティア活動や観察会などの機会を利用して駆除を行った。



捕獲したウシガエル



観察会でのメダカ駆除のようす

## IV 調査・モニタリング

### 1 植物調査

2021年度に草地化及び掘削を行ったコドラートの追跡調査と、2022年度に設定した周辺森林の植生調査地の調査を秋に1回実施する。確認された植物に応じて順応的管理を行う際の参考とする。

委託先：武田義明名誉教授（神戸大学）、上田萌子准教授（大阪公立大学）

2021年度に設定したコドラートのうち、下池右岸の袖部で草地化を目指して刈払いを行った後に防鹿柵を設置した場所と、重機を用いて掘削を行った湿地内部分の追跡調査を9/5に実施した。（参考資料3）



9/5 調査のようす

### 2 哺乳類調査

自動撮影カメラのデータを定期的に回収・記録を継続し、撮影された画像などは大阪みどりのトラスト協会のHPで公開する。

データを定期的に回収し、記録を継続した。  
シカ、テン、キツネ、アライグマ、アナグマ、ハクビシンなどが確認された。



設置しているセンサーカメラ

### 3 水生生物調査

湿地内および周辺の水生動物を、年3回の調査を通して種数の変遷を調査する。調査対象は節足動物および両生類とする。

今年度はハッチョウトンボの保全を目的として、地黄湿地における本種の発生状況と季節消長、行動などの解明を目的とした調査を行う。(詳細別紙参照)

委託先：平井規央教授（大阪公立大学）

大阪公立大学による調査を実施。(参考資料4)

### 4 動植物観察、希少種確認・記録

ボランティア定例活動において、サギソウ等の希少種の分布状況、生育状況を記録する。(再掲)

## V 普及啓発など

### 1 地元高校環境学習

地黄湿地を活用した環境教育を行う。

大阪府立豊中高校能勢分校の3年生を対象に「地域と環境」の授業内で実施した。

観察実習：6/29、7/13

秋の生きもの観察会講師：10/12（下見）、10/19

保全活動体験：2/1、2/15（両日雨天のため中止）



授業のようす

### 2 一般参加観察会

植物紹介を中心とした観察会を年に3回実施する。そのうち、6月のトキソウ観察会では、ハッチョウトンボ調査を併せて実施するとともに、水生動物を紹介する機会とする。動植物や保全活動に関心のある人を対象に、自然環境についての学び場とし、保全活動への参加を促進させる。

- ・【6月】トキソウ・ハッチョウトンボ・水生動物観察会
- ・【7月】サギソウ観察会
- ・【10月】秋の植物観察会

3回の観察会を行った。

・トキソウ・ハッチョウトンボ観察会：6/24（土）29名参加

・サギソウ観察会：7/23（日）27名参加

・秋の生きもの観察会：10/19（木）30名参加

秋の生きもの観察会では、能勢分校の生徒が講師を行った。



10/19 秋の生きもの観察会

### 3 勉強会・実地研修会

前年度に好評だった勉強会・実地研修会を今年度も実施する。時期はハッチョウトンボが見られる時期とし、内容は湿地保全活動をどのように継続していけるかを参加者で考える機会とする。

また、北摂地域の各湿地における保全活動が活発化しており、それらの保全活動団体と交流を図り、連携の可能性を検討する。

北摂エリアで湿原保全活動を行っている団体を対象に、情報交換会を行った。

#### 【内容】

- ・ 話題提供「ハッチョウトンボから湿地の保全を考える」  
平井規央副会長
- ・ 参加活動地フラッシュアップ
- ・ ポスターセッション

2/23（金・祝）池田市商工会議所で実施。57名参加  
情報交換会終了後もコミュニケーションをとる手段として、メーリングリストを活用することとなった。



平井副会長による話題提供



参加者集合写真

### 4 巡回パトロール

地元地黄区の協力を得て、春～秋は月2～3回、冬季は月1回、年間合計25回の巡回パトロールを実施する。

地元地黄区による巡回パトロールを年間合計25回実施した。

## 2023年度 地黄湿地 ボランティア活動実績表

月日・曜日	実施活動	活動内容
4/2 (日)	巡回	地黄区による巡回
4/22 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	枝谷草刈り、植物観察
4/23 (日)	巡回	地黄区による巡回
5/8 (水)	巡回	地黄区による巡回
5/27 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	トキソウ開花数調査、センサーカメラデータ回収
5/28 (日)	巡回	地黄区による巡回
6/3 (土)	巡回	地黄区による巡回
6/15 (木)	巡回	地黄区による巡回
6/23 (金)	巡回	地黄区による巡回
6/24 (土)	トキソウ・ハッチョウトンボ観察会	観察会
6/29 (木)	能勢分校授業	湿地性の動植物の観察・解説
7/2 (日)	巡回	地黄区による巡回
7/9 (日)	巡回	地黄区による巡回
7/20 (木)	観察会下見、防鹿柵設置場所検討	観察会下見、上池集水域視察
7/23 (日)	巡回	地黄区による巡回
7/13 (木)	能勢分校授業	湿地性の動植物の観察・解説
7/22 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	観察会準備（観察路整備など）
7/23 (日)	サギソウ観察会	観察会、KONC シンポジウム補助
8/13 (日)	巡回	地黄区による巡回
8/26 (土)	巡回	地黄区による巡回
8/26 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	動植物観察
9/9 (土)	巡回	地黄区による巡回
9/17 (日)	巡回	地黄区による巡回
9/23 (土)	巡回	地黄区による巡回
9/23 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	動植物観察、木柵補修、倒木処理
10/4 (水)	巡回	地黄区による巡回
10/12 (木)	能勢分校授業	10/19 観察会下見
10/14 (土)	巡回	地黄区による巡回
10/19 (木)	秋の生きもの観察会	観察会
10/23 (月)	巡回	地黄区による巡回
10/28 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	動植物観察、草刈り、外来種駆除



月日・曜日	実施活動	活動内容
11/4 (土)	巡回	地黄区による巡回
11/11 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	草刈り
11/24 (金)	巡回	地黄区による巡回
11/25 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	防鹿柵設置線検討
12/9 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	草刈り、枯れ草運び出し
12/23 (土)	巡回	地黄区による巡回
12/23 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	草刈り、枯れ草運び出し
1/13 (土)	巡回	地黄区による巡回
1/13 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	草刈り、枯れ草運び出し
1/27 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	草刈り、枯れ草運び出し
2/1 (木)	能勢分校授業	※雨天・積雪のため中止
2/10 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	草刈り、枯れ草運び出し
2/15 (木)	能勢分校授業	※雨天・積雪のため中止
2/19 (月)	巡回	地黄区による巡回
2/24 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	草刈り、枯れ草運び出し
3/9 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	観察路草刈り
3/17 (日)	巡回	地黄区による巡回
3/23 (土)	地黄の森 FAN クラブ定例活動	荒天のため中止
3/31 (日)	巡回	地黄区による巡回